

## 【プレスリリース】「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」修了報告

JEFLA事務局 / 発表日：2024年8月1日

JEFLA事務局は、2024年6月16日から7月20日にかけて実施された「海外からの社会科見学」及び「高校体験入学」から構成される「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」が、無事に終了したことをご報告いたします。

本プログラムは、グローバルな環境と日本人としてのアイデンティティを融合させ、未来の日本をリードする人材を育成することを目的とし実施されました。日本国外在住の日本語補習学校等で学ぶ、主に中学・高校生を対象に、22機関と協力をして合計24日間にわたり行われました。世界18都市より延べ155名の生徒、保護者やボランティアを含めると総計265名の参加者が集まり、参加者に多様な学びと経験を提供しました。また参加費は全て無料としドネーションによる運営をすることにより、より多くの協力者と、参加者を募ることが出来ました。

JEFLAは今後も、海外で学ぶ生徒たちに日本文化や社会に触れ、成長する機会を提供し続けます。次年度は更に多くの協力企業・団体を拡大し、またプログラムの充実を計り開催準備を進めています。より多くの生徒への成長機会を提供し、また生徒それぞれのこれからの成長を期待しています。

最後に、本プログラムにご協力いただいた企業・大学・団体、および関係者の皆さま、生徒保護者の皆さま、さらにはボランティアの皆さまに感謝申し上げます。事故・怪我なく無事生徒たちに学びと経験を提供できたことは、みなさまのご協力とご理解のおかげです。ありがとうございました。

### 「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」の目的:

- 日本国外で生活する生徒が、日本人としての教養と誇りを深めること
- 世界中のトレジャーとのネットワークを構築し、コミュニティを形成すること
- 日本社会や企業とのつながりを築き、将来の国際的な活躍を目指すこと

### 「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」の特徴:

未来の日本のリーダーに必要なグローバルの価値観と、日本人としてのアイデンティティ。本プログラムでは、日本人のアイデンティティを育み、また生徒それぞれが持つ在住国・在住都市の価値観、さらにその価値観を繋ぎ合わせるネットワークの形成を促すことを特徴としています。

- **日本社会とのつながり・日本人としてのアイデンティティ**  
日本社会を代表する企業・大学・団体の見学や、日本で暮らす同世代の子どもたちと同じ環境で学ぶ高校体験入学を通し、またプログラムに協力する方々との交流を通じて、日本人としての誇りや将来の日本に貢献したい気持ちを育みます。
- **世界中の生徒と繋がるネットワークづくり「JEFLA Treasure Friends System」**  
日本国外で日本語学習を継続する生徒や保護者のコミュニティーとして「JEFLA Treasure Friends System」は世界中の仲間と、継続的・長期的な交流を目指す取り組みです。参加者はJEFLAパスポートを使い全ての参加者と交流したり、プログラム中に提供されるグループクエスト／ゲームなどで協力する事で、新しい仲間との関係を築きます。
- **JEFLA Certification**  
JEFLAでは一定の学習プログラムあるいはボランティア活動を修了した生徒に、その証として修了証を授与しています。本年は、特待生に選ばれ高校体験入学に参加した5名と、3日間のSTEM研修に参加した8名にCertificationを授与しました。

## 「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」の成果:

155 / 265 「海外からの社会科見学」および「高校体験入学」両プログラムに、世界18都市から延べ155名の生徒が参加しました。保護者やボランティアを含めると、延べ265名の参加者が集まりました。参加者の居住都市には、アメリカ（カリフォルニア州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、ノースカロライナ州、インディアナ州、テキサス州、ワシントン州）、コロンビア、イタリア、ドイツ、イギリス、デンマークが含まれます。

22 「海外からの社会科見学」には、大学・企業・交流団体など合計22の機関が生徒たちに多様な学びと経験の場を提供しました。特に、大学の訪問や、TBS、SONY、IBM、Cyber Agentといった企業訪問は、生徒たちが将来のキャリアを考える上で非常に有意義な機会となりました。また、参議院国会見学では、他校の生徒と合同の模擬議会に参加をし、議長を務めるなど貴重な体験をしました。震災遺構大川小学校では、長期プロジェクトの第1弾として、1泊2日の研修を行いました。東日本大震災の伝承と、大川の持続可能なコミュニティーづくりに取り組んでいきます。（協力団体は下記一覧参照）

5 「高校体験入学プログラム」では7月7日から14日まで、JEFLA特待生5名が沼津学園桐陽高等学校での高校体験入学に参加しました。生徒たちはホームステイをしながら、学級活動や部活動、茶道体験、着付け体験、祭り寿司作り、成果発表会に参加しました。このプログラムを通じて、生徒たちは強い絆を築き、ホストファミリーや学校関係者からも高い評価を得ました。特待生5名は1年間、JEF LA Youth Programのリーダーとして活動をしていきます。

### 「海外からの社会科見学」活動一覧:

#### ▶企業訪問:

- TBS テレビ局社会科見学
- SONY Student Wonder Program
- 朝日新聞社 新聞メディア講座
- 鈴廣 工場見学
- IBM Innovation Studio 先進技術体験プログラム
- CyberAgent キャリアプログラム

#### ▶大学訪問:

- 慶應義塾大学
- 早稲田大学

#### ▶官庁訪問・施設見学:

- 東京消防庁本所防災館
- 農林水産省
- 国会議事堂（模擬議会参加）
- 東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム
- 日本科学未来館
- 国立科学博物館

#### ▶文化体験・交流活動:

- 富士登山・富士宮市 富士山研修（あさぎり山の会・ふじさんシニアクラブ）
- 沼津ひもの研修（ぬまづ干物協会・長庄水産）
- ゆかた着付けと交流会（全国和装指導者協会彌千世流着付け）
- 伊豆の国市交流会・源氏あやめ祭り（伊豆の国市国際交流課）
- かまぼこの里 研修（鈴廣）
- 宮城県石巻 震災遺構『大川小学校』研修（Team大川 未来を拓くネットワーク）

「高校体験入学」高校体験入学プログラム: 沼津学園桐陽高等学校 体験入学

S  
T  
E  
M  
研  
修



**日本科学未来館**  
AIスーツケースに興味津々



**国立科学博物館**  
クエストに挑む



**IBM Innovation Studio**  
最先端技術とビジネス



**Cyber Agent**  
企業訪問



**STEM研修最終日 7/19-21**  
研究→実用化→ビジネスを学ぶ



**Sony Student Wonder**  
Made in Japanの歴史と質



**東京消防庁本所防災館**  
救助体験訓練



**鈴廣 工場見学とかまぼこ作り体験**  
日本の水産加工業の海外進出



**TBS メディア研修**  
テレビ番組制作と局内見学



**霞が関見学 農林水産省訪問**



**国会議事堂 他校の生徒との疑似議会**



**震災遺構 宮城県石巻 大川小学校 研修**



**慶應義塾大学 三田**  
キャンパス見学後学食で食事



**早稲田大学 在校生による見学ツアー**  
参加者同士の情報交換



**朝日新聞社 メディア新聞の編集**  
から印刷までの現場を東京本社で見学。



**東京学芸大学杉並アニメーションミュージアム**

i  
n  
静  
岡



**沼津ひもの作り体験**



**富士登山 地元の方々と宝永山火口登頂・富士宮浅間神社**



**伊豆の国市 あやめ祭り交流会**

高  
校  
体  
験  
入  
学



**静岡県 桐陽高等学校 7/7-14**  
ホームステイに滞在し、日本での授業、部活訪問、放課後の高校生活を満喫。海外生徒の影響は、日本の高校生にも良い刺激を与えた。



**祭り寿司**



**着付け教室**



**打ち水大作戦**



**茶道**



**成果発表会**



**絆**

## 「2024年JEFLAグローバル人材育成研修プログラム」参加者の声:

多くの参加者が本プログラムで得た経験について喜びと将来への期待を表しています。

「ふつうでは見られないテレビ局の裏側や、オフィスビルの中に入り、新しいテクノロジーを見れたり、体験ができて**感動**しました」 (CA在住、中2)

「魚が苦手だったけど、出来立ての蒲鉾は**おいしかった**です。」 (NJ在住、中1)

「動画や本では学べない、日本の高校生活を**自分で感じられた**ことが、何にも代えられない価値が大きい体験になりました。今回の体験を通じて、もっと日本の文化や日本の生活に**興味**を持ちました。これからも、日本語を頑張りたいです。」 (コペンハーゲン在住、高1)

「僕が住んでいる所には日本人がおらず、母とずっと日本語を勉強してきました。今回の社会科見学に参加をして、**同年代の友達と交流**することが出来、自分の学びへのモチベーションが高まりました。日本語をもっと話せるようになりたいです。」 (イタリア在住、高2)

「息子には関心が高かった人工知能について実際に事業化に取り組んでいる方から説明を受け、身近に体験することができたことにとっても**感銘**を受けたようです。私自身も貴基金が目指す海外在住の子女への**日本の様々な社会との接点創出**の機会作りを通じた社会への貢献に心から賛同いたします。また、現地の学校で学びながらも日本のことや日本語を学ぶ子供たち、そしてその子たちを育てる**保護者たちとの交流**はとても生き生きとしたもので有意義な2日間となりました。」 (ドイツ在住 保護者)

「実際学校を見学し日本の大学生活を**イメージできた**事、またそれ以上に同じ境遇の高校生とお話できたことがとても**刺激的**だったようです。大学受験に向けて情報交換もしたようで、かなり**有意義な体験**になりました。**アメリカに住んでいても補習校以外で同年代の日本人と話す機会**は中々ないので、参加させて良かったです。周りにも勧めようと思っています。このような機会を設けていただき、ありがとうございました。」 (NC州在住 保護者)

「富士登山、アジの開き方や干物の作り方、着付けや打ち水、茶道体験など、**私では到底伝えられない美しい日本文化を、十分に味わわせていただき**、とても楽しんだことがよく伝わりました。本当にありがとうございました。」 (高校体験入学特待生 保護者)

「娘はあまり積極的ではありませんでしたが、JEFLA生徒のホームステイを受け入れて、オーストラリア留学に行く前に**一步外に出る勇氣**をもらいました。短い時間でしたが、本当にホームステイを受け入れて良かったです。とてもいい経験が出来ました。」 (ホストファミリー)

「皆さん優秀で、戸惑いながら手探りですすめさせていただきました。これからの時代に**必要な教育をもっと考えなければ**と感じました。そういう意味でも今回のプログラムは有意義ですね。来年も超越いただくことを楽しみにしております。」 (企業)

「『子女と日本の未来日本の未来を担う子ども達のために』というJEFLAの考えに共感し特別見学の場を提供させていただきました。世界中から集まった子どもたちが目をキラキラさせながら体験している様子、見学後の**積極的な質問**はとても印象に残っています。子どもたちの将来の可能性に少しでもよいきっかけを作れたのなら嬉しいです。」 (企業)

プレスリリース、各種取材の問い合わせ先:

<https://jefla.org/> お問い合わせメール [infola@jefla.org](mailto:infola@jefla.org)